

## 令和5（2023）年度 北網保健医療福祉連携推進会議 歯科保健医療専門部会 開催報告

- 1 日時：令和6年2月28日（水） 18:30～20:00
- 2 場所：会場及びWeb開催（会場）北見保健所 2階会議室
- 3 出席者：20名 会場参加 13名（内 事務局7名）、Web参加 7名（内 事務局2名）
- 4 議事

## (1) 報告事項・情報提供

**(ア) 令和5年度（2023年度）歯科保健事業について**

- ① 北見保健所、網走保健所における令和5年度（2023年度）の歯科保健事業実績について報告した。

**(イ) 北海道歯科保健医療推進計画の策定について**

- ① 上記計画の策定スケジュール及び素案の概要を説明した。

**(ウ) 次期北網保健医療福祉圏域推進方針の策定スケジュールについて**

- ① 上記推進方針の策定スケジュールの説明及び今後の策定にあたっての協力依頼を行った。

## (2) 意見交換

**(ア) フッ化物洗口の継続及び再開に向けて**

- ① 管内の公立小学校のフッ化物洗口について1市が再開未定となっているため、再開に向けて要請を行っていく。（オホーツク教育局）
- ② フッ化物洗口は子ども達の健康格差を解消するポピュレーションアプローチとして非常に重要。北見歯科医師会としても全面的に協力したいと考えている。（北見歯科医師会）
- ③ 北見市のフッ化物洗口は令和2年2月から中断していた。歯科医師会、歯科医師団、学校薬剤師会、保健所など関係団体の協力により今年度から順次再開することができた。（北見市教育委員会）
- ④ 管内保育所・小学校等におけるフッ化物洗口の再開と開始に向けて、歯科医師会として教育委員会に働きかけると同時に学校保健医・学校歯科医の立場から学校に働きかける。（部会長）
- ⑤ フッ化物洗口は北海道歯・口腔の健康づくり 8020 推進条例に基づく事業であり、やはり執行していくということが大事。関係各所の皆さんのお力を頂き、是非とも推進という形で進めていきたい。（部会長）

**(イ) 歯科医療従事者の確保について**

- ① オホーツク圏域在宅歯科医療連携室は、現在相談員が不在で積極的な周知はできていないが、歯科医師に対して訪問診療に対応できる資質向上のための研修会の開催等を予定している。（北見歯科医師会）
- ② 歯科医師会北見地区の現状の課題としては、会員の高齢化及び後継者不足並びに新規開業者がほとんどいないこと。休日診療や救急診療も対応できる歯科医師の減少に伴い、今後事業の縮小等が考えられる。市民の方々にも、かかりつけ歯科医をしっかりとっていただくというような啓蒙活動等も必要と考えている。（北見歯科医師会）
- ③ 歯科医師会斜網地区も同様の状況である。コデンタルスタッフ（歯科助手・歯科衛生士）も人数が少なく、募集をかけてもなかなか来てくれない現状がある。歯科医師に関しても、歯科医師が1名のみの町もあり、今後高齢化により、いずれは閉院してしまう可能性がある。無歯科医地区が出てくる懸念もある。（北見歯科医師会）
- ④ 歯科衛生士会オホーツク支部も会員の減少がある。北見市で12月に開催した歯科衛生士フェアのようなイベント等には多くの方が集まり、周知活動ができるのではないかなと思う。（北海道歯科衛生士会）
- ⑤ 訪問看護に関しては、介護保険を使う場合は、私たちが直接歯科衛生士さんとかと連携を図ることはほとんどなく、ケアマネージャーが間に入って調整をとっているのが現状。本当はもっと連携を図る必要があると感じている。（北海道訪問看護ステーション連絡協議会）
- ⑥ 歯科医療従事者の確保についての改善方法は難しいとは思いますが、この問題に対する対策を講じないといけない。即効的な解決方法は難しいが、まずは地域で課題共有し、今後の対策のきっかけにできればと考える。（部会長）

## (3) 協議事項

**(ア) 令和5年度 北網地域推進方針 歯科保健医療対策について**

- ① 事務局から、現行の北海道医療計画に基づく、北網地域推進方針の歯科保健医療対策に関する進行管理表の内容について報告。協議の結果、本内容を北網保健医療福祉圏域連携推進会議に提出することについて、承認された。